

# AOI Partners NEWS LETTER

コロナウイルスの拡大に伴い世界経済への打撃が止まることを知りません。その影響は急速に、かつ、確実に足元の経済にも忍び寄ってきています。ピンチのときこそ、迅速で冷静な対応を！、いよいよ4月からは同一労働同一賃金の導入が始まります。非正規社員の待遇を改善し、意欲を持って働いていけるようにすることが目的です。企業にとっては大変な対応ですが、少子高齢化が進む中で労働力生産性の確保が欠かせません。そのためにも非正規労働者のスキルアップが大切になって行くのではないのでしょうか。また、非正規社員の方が優秀というお話もよく聞きます。本当の実力が試される時代になってきたともいえます。 西田

国難とも言える、今回のコロナウイルス。

資金繰り・今後の景気の行方・給与を払っていけるかなど経営者の皆様の不安・ご心配弊社にも怒涛のように伝わってまいります。居ても立っても居られない、不安の波にさいなまれてしまうのですがこのようなピンチの状況の中でも経営者は行動することが大事です。

1月末～影響は出ていますが、特に3月に入ってからの方が急激かと思受けられます。とすると、3月分の支払い・・・**3月末～4月末の資金ショート**には要注意です。

しかし一瞬の資金ショートで企業活動が終わるなどと早急にあきらめてはいけません。自社の資金繰りに危険度を感じたら、早めに手を打ってください。

明日のお金が足りない、助けてくれと金融機関に駆け込んでも、間に合わないため早めに金融機関へ相談に行くべきです。

「うちみたいな会社は貸してくれないのではないかと行動しないのもいけません。どんなに小さな規模でも、相談してみてください。

またこの影響は、単に飲食業やサービス業にとどまらず、今後様々な職種にも影響を及ぼす可能性があります。

ここで、自社の経営が「コロナウイルスのせいで上手くいかない、コロナウイルスが終焉したら良くなる（戻る）」のか、「構造的に利益が出ない状況」なのかの見極めも必要です。

もし、コロナの影響だけではなく利益の出ない体制であるならば、このような状況がまた起これば、また同じことになってしまいます。

こんな時こそ、これまで時間がないと行動にうつせなかった

**社内整備・社員との対話・新戦略を考える・時間がなくてしてこなかった営業活動など、動きを止めずに新しいチャレンジをすることができるか**でこの騒動が終息した後、そして**未来の業績・運命が大きく変わってきます。**

また、**冗費の見直し**も必要です。

必要経費・戦略費（投資）とは異なり

冗費とは事業継続に関係のない余分な費用です。いわゆる浪費です。

（例えば過度な交際費など）強い会社にするために見直してください

それが会社の次なる成長ステージの糧になると信じています。



花田直子